

平成 28 年度 野外実習報告（1）

探究科学科 1 年は、「観察力と疑問発見力の向上」をめざし、『立山自然観察実習（7/21～7/22）』と『能登臨海実習（7/25～7/27）』のいずれかに参加しました。

立山自然観察実習(7/21～22)

7月21日（木）曇り時々雨

キヌガサソウ
（世界最大のゲノムをもつ）



8:30 に学校を出発し、まずは砂防博物館の見学です。ピンポン玉を使った雪崩体験はすごい迫力でした。その後、美女平へ行き、沸点調査や植生調査を行いました。ナチュラルリストさんの話を聞きながらの調査は大変興味深くできました。また、観察力を磨けば、積雪深など冬の状態を推測できるということを知り驚きました。午後からは弥陀ヶ原のカルデラ展望台へ行きましたが、残念ながら霧でカルデラを見ることはできませんでした。それでも、カルデラ展望台へ向かう道筋に、世界最大のゲノムをもつキヌガサソウが群生しているのを見ることができました。



美女平の植生調査



沸点調査

7月22日（金）晴れのち曇り

午前中は室堂平で高山植物の調査を行い、午後からは弥陀ヶ原で植生・池塘調査を行いました。高山植物の調査中に雷鳥の親子を見ることができました。



室堂平の高山植物調査



弥陀ヶ原の植生・池塘調査

富山県ナチュラルリスト協会の志村先生、水野先生、日下先生に大変お世話になりました。ありがとうございました。